

# 安全な環境を整えよう

## ～危険予測をしよう～

法人名：社会福祉法人 恩賜財団  
愛知県同胞援護会

施設名：特別養護老人ホーム春緑苑

サークル名：セーフティーファースト

発表者：高橋慶多

機器操作者：伊藤真人

### 1. 施設紹介

今年で20年目を迎えた特別養護老人ホーム春緑苑では、利用者117名が平均介護度4.5と重度の介護度を抱えながらも個性豊かに生活されています。

ショートステイ、デイサービス、訪問入浴、ヘルパーステーション、グループホーム、ケアハウス、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターを併設し、地域の拠点として幅広いサービスを提供しています。

春緑苑の経営理念である利用者の立場に立ったサービスを心掛け、良質なサービスを行う為の職員の質の向上を図り、地域の核となるべき施設作りに努めています。

### 2. サークル紹介

|            |       |           |         |
|------------|-------|-----------|---------|
| 構成人員       | 4名    | 施設QC活動年数  | 14年     |
| 現メンバーでの活動暦 | 5ヶ月   | 構成メンバーの職種 | 介護士     |
| 平均年齢       | 26.5歳 | 主な活動時間    | 業務時間内/外 |
| 月あたりの会合回数  | 3回    | 本テーマの活動期間 | 5ヶ月     |
| 本テーマの会合回数  | 15回   | 会合時間      | 1回平均40分 |

### 3. テーマ選定・理由

◎=5点 ○=3点 △=1点

| 評価項目        | 施設長方針 | 重要性 | 緊急性 | 効果期待 | 可能性 | 短期解決 | 総合評価 | 順位 |
|-------------|-------|-----|-----|------|-----|------|------|----|
| 居室の飾りつけをしよう | ○     | ○   | △   | ○    | ◎   | ○    | 18   | 3  |
| 危険予測をしよう    | ◎     | ◎   | ◎   | ◎    | ◎   | ○    | 26   | 1  |
| 個別処遇を充実させよう | ◎     | ◎   | ○   | ◎    | ○   | △    | 22   | 2  |
| 身だしなみを整えよう  | ○     | ○   | ○   | △    | △   | ○    | 14   | 4  |

風の里では、ご利用者がゆったり、のんびりと生活しています。以前と比べて歩行の方や車椅子で自走出来方が増えて、皆さん思い思いの自分の時間を過ごされています。しかし、そんな時間も安全な環境があつてこそ過ごせることだと思います。

そこで今回私たちは、日中ご利用者が集まりゆったりと過ごしている南風と、トイレや各居室等に行く為に活用する廊下に視点を合わせ、そこに潜んでいる危険を予測して皆さんが安心して楽しく生活している環境作りをしたいと思い、今回このテーマに取り組むことにしました。

#### 4. 今回の活動に関する施設長のコメント

##### 1. 活動が与えた施設への効果

生活支援の基本理念である"利用者の尊厳が守られる介護"は、安心・安全な環境を整えることが基本的な条件です。

「風の里」の生活空間を整える過程において、認知症の方をより良く理解し、「利用者の顔が見え、その方の日々の生活を大切に援助する」という施設のあるべき姿を再確認することが出来たと思います。

##### 2. 実践者(サークル)に一言

今回のQC活動を通じて、危険予測をする多くの"気づき"を発見することができました。今後は、この経験を生かし危険予測を生活空間や認知症ケアに関する援助(医学的・援助技術)など、より深く挑戦し、より質の高いサービスの提供を行ってほしいと思います。

#### 5. 活動計画

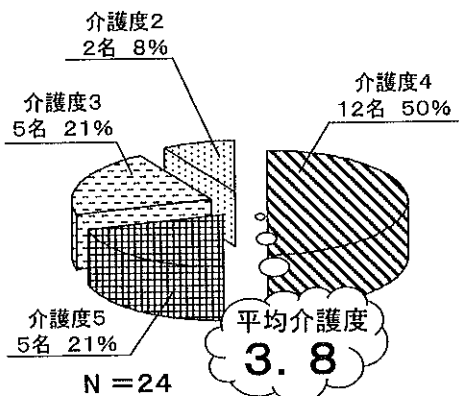
.....→ 計画    → 実施

| 実施項目  | 担当 | 11月    | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|--------|-----|----|----|----|
| テーマ選定 | 石田 | →      |     |    |    |    |
| 現状把握  | 高橋 | .....→ | →   |    |    |    |
| 目標設定  | 秋津 |        | →   | →  |    |    |
| 要因分析  | 石田 |        | →   | →  |    |    |
| 対策実施  | 秋津 |        | →   | →  | →  |    |
| 効果確認  | 高橋 |        |     | →  | →  | →  |
| 波及効果  | 土岐 |        |     |    | →  | →  |
| 歯止め   | 秋津 |        |     |    | →  | →  |
| 反省    | 石田 |        |     |    |    | →  |

#### 6. 現状把握

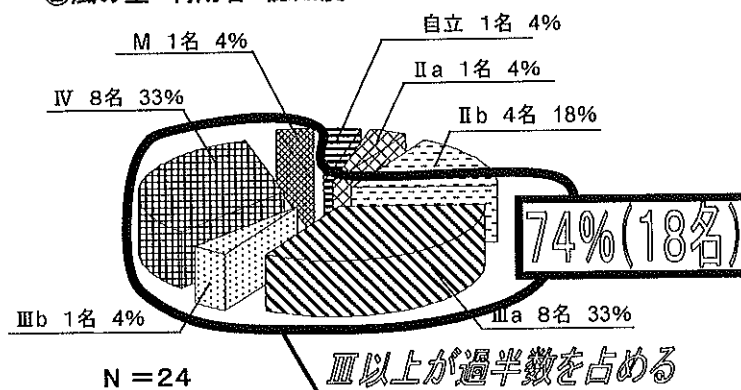
調査期間:平成17年11月10日~12月9日

##### ①風の里 利用者 介護度



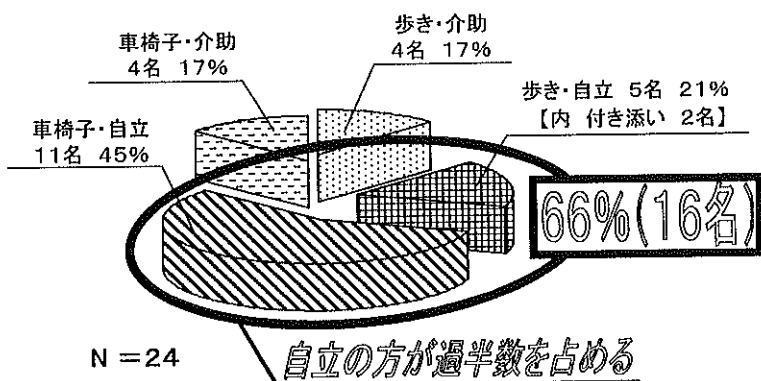
H17. 12. 15 作成者 高橋

##### ②風の里 利用者 認知度



H17. 12. 15 作成者 高橋

##### ③風の里 利用者 移動形態



H17. 12. 15 作成者 高橋

##### ④職員アンケート H17. 11. 20調査

風の里 危険予測アンケート

氏名 \_\_\_\_\_

(1). 風の里でどこが危険だと思いますか? (1つのみ○を)

南庭 昼室 廊下 トイレ

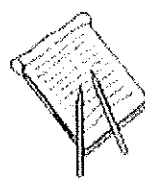
(2). (1) で選んだ場所どこが危険だと思いますか? (複数回答可)

(3). (2) で選んだ場所でのどのような危険が予測されますか? (複数回答可)

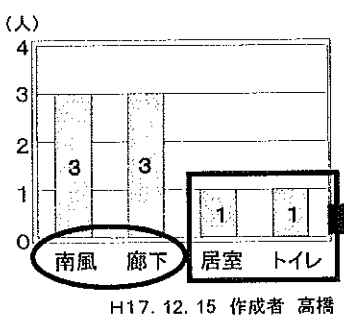
【例】「〇があるから、△の危険が考えられる。」と記入して下さい。

ご協力ありがとうございました。

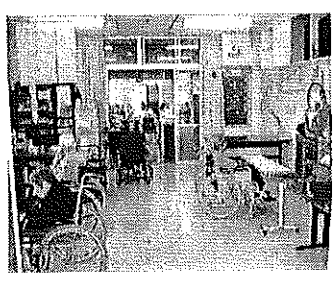
風の里職員  
8名に対し  
アンケート  
実施



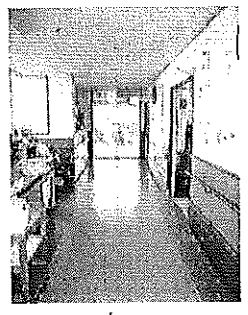
(1). 風の里でどこが危険だと感じますか？



居室・トイレを選択した2名に再度、南風・廊下についてアンケート実施

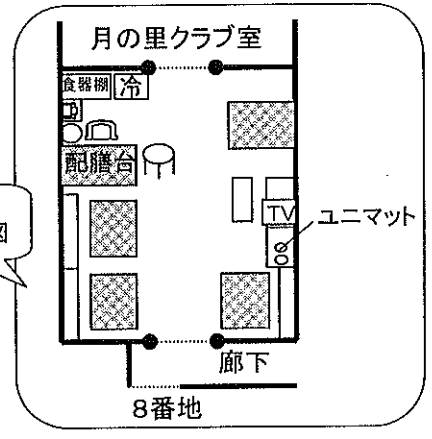
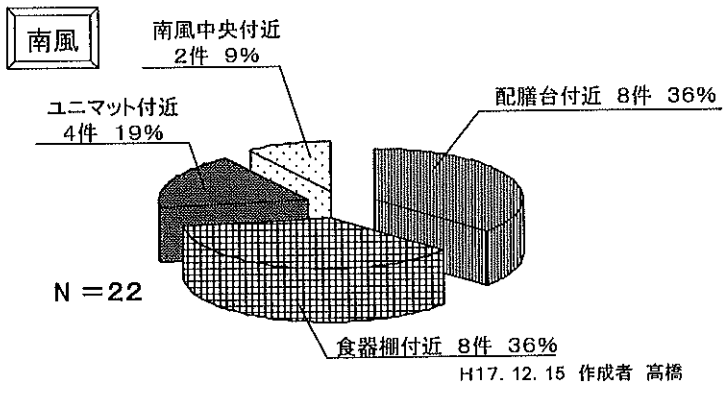


南風

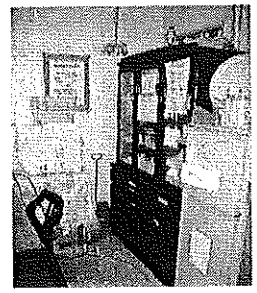


廊下

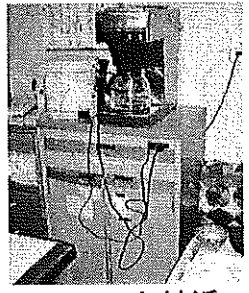
(2). 南風・廊下でどこが危険だと感じますか？(複数回答可)



配膳台付近



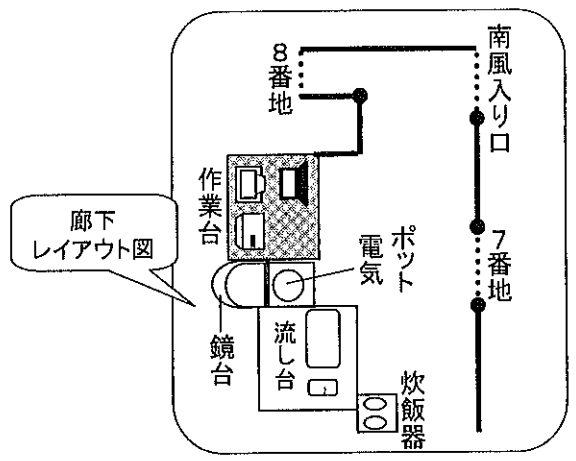
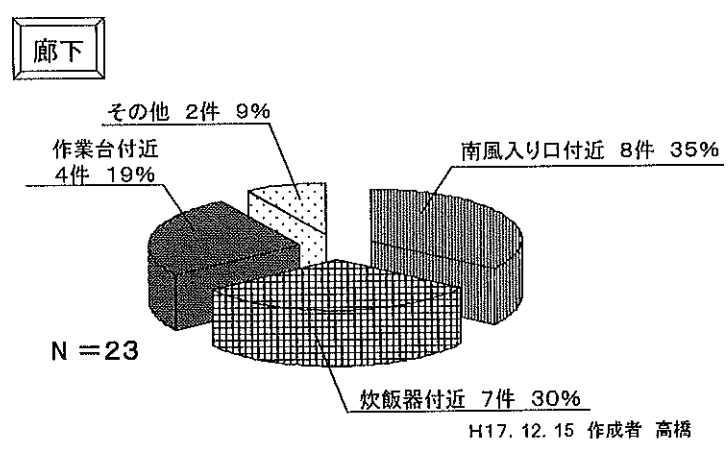
食器棚付近



ユニマット付近



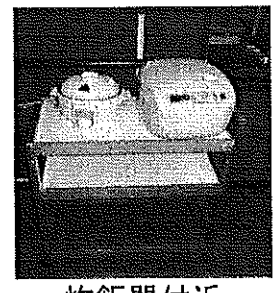
南風中央付近



作業台付近



南風入り口付近



炊飯器付近

(3). (2)で選択した場所でどのような危険が予測されますか？(複数回答可)

「〇〇があるから、△△の危険が考えられる。」  
の形式で回答してもらったところ・・・

総回答数=126 一入平均=15.8

**配膳台付近**

- 雑巾 ①拾おうとして前へ転倒  
②つまづいて転倒
- 丸いす ③上に乗って転落  
④つまづいて転倒  
⑤座って後ろに転落

**作業台付近**

- 電気コード ①引っ掛けて転倒
- 電気ポット ②引っ掛けて落とし火傷
- 机下のボックス等 ③つまづいて転倒
- 鏡台前 ④物を取る際につまづいて転倒  
⑤物を取る際に手を伸ばして車椅子より転落

**南風入り口付近**

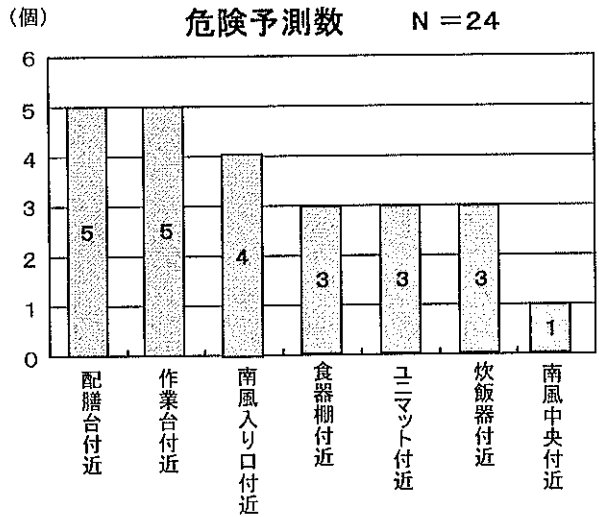
- 廊下隅の車椅子 ①接触して剥離  
②手を付いて動いてしまい転倒
- 廊下の幅が狭い ③通る際に車椅子同士で接触して転倒・剥離  
④通る際に利用者同士でトラブル

**食器棚付近**

- 椅子 ①上に乗って転落
- 電気コード ②足を引っ掛けて転倒
- タオル干し ③椅子に乗ってタオルを干そう・取ろうとして転落

**ユニマット付近**

- コーヒーポット ①落として割って切り傷
- 電気コード ②引っ掛けて転倒
- ユニマット電気ポット ③使用中に触って火傷



**炊飯器付近**

- 炊飯器台 ①接触して剥離  
②手を付いて動いてしまい転倒
- 炊飯器 ③使用中に触って火傷

**南風中央付近**

- 中央スペース ①車椅子が後退した際に接触して転倒・剥離

H17. 12. 15 作成者 高橋

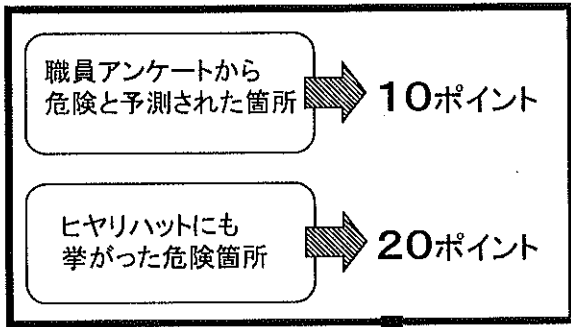
⑤南風・廊下のヒヤリ・ハット

1ヶ月合計49件 → 環境を要因とする南風・廊下のヒヤリ・ハット 5件(10%)

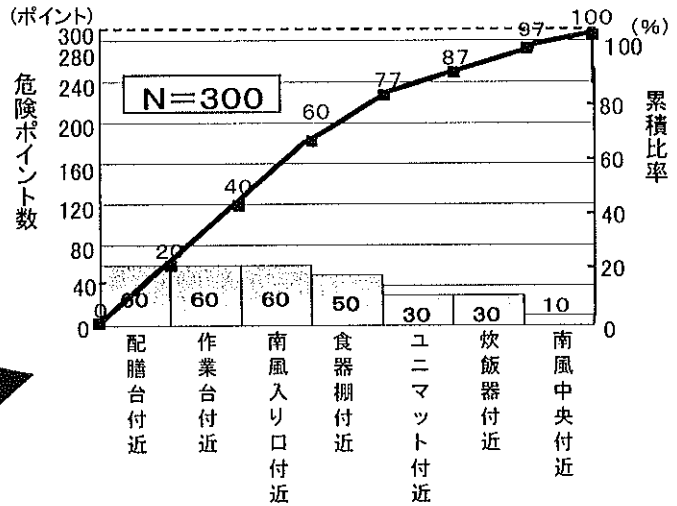
- ★ 11月10日(木)9:40 廊下 W.T さん  
廊下に停めてあった車椅子にPの車椅子のタイヤ部分が接触。
- ★ 11月11日(金) 南風 A.M さん  
他のご利用者の対応で南風から離れた際に丸いすに乗ってタオルを干そうとしていた。転落の危険があった。
- ★ 11月17日(木)10:00 廊下 Y.I さん  
鏡台の物を取ろうとして手を伸ばす。車椅子より転落の危険があった。
- ★ 11月28日(木)6:50 南風 A.M さん  
南風に行くと食器棚の前に置いてあったいすに乗り、干してあったタオルを取ろうとしていた。転落の危険があった。
- ★ 12月6日(火)19:20 廊下 N.F さん  
不穏状態になってしまったPが廊下に停めてあった車椅子に手を付いて車椅子が動く。転倒の危険があった。



### ⑥ポイント算出方法



### ⑦危険箇所別ポイント パレート図



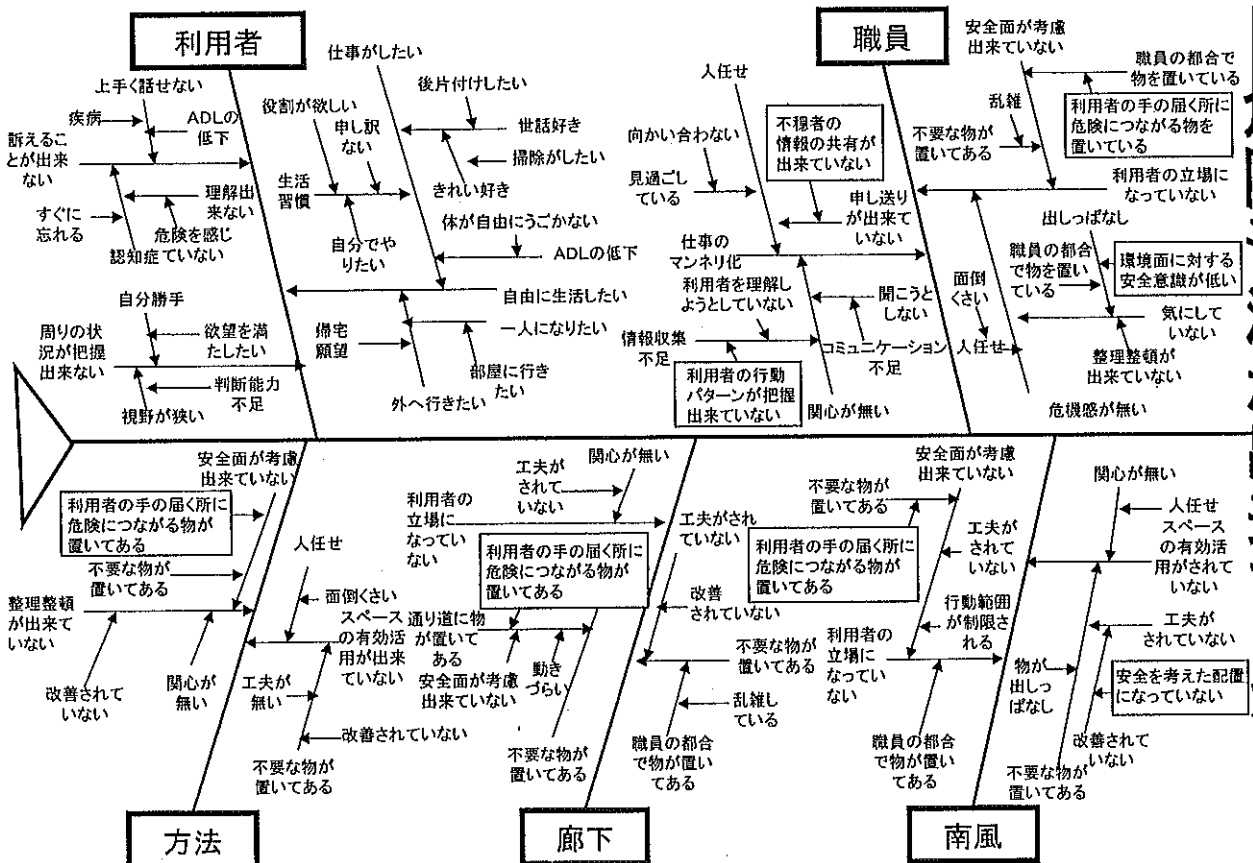
H17. 12. 15 作成者 高橋

### 7. 目標設定

危険予測を行い、ポイントを **80%** 減らそう!!

### 8. 要因分析

H18. 1. 12 作成者 石田

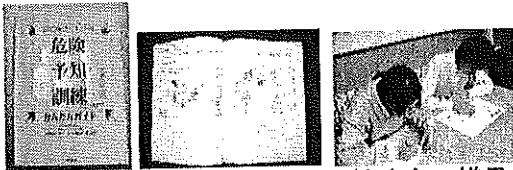


危険予測が主眼点である

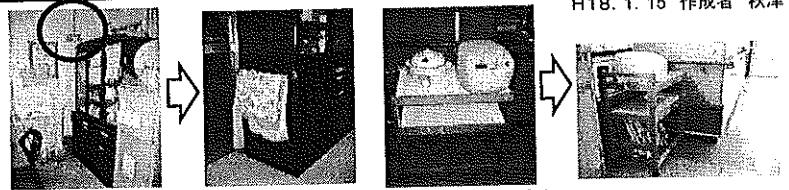
## 9. 対策立案・実施

| 要因                       | 誰が    | いつ   | どこで  | 何を        | どうする                 |
|--------------------------|-------|------|------|-----------|----------------------|
| 環境面に対する安全意識が低い           | 風の里職員 | 月1回  | 風の里  | 勉強会       | 行い、危険予測について勉強する      |
|                          |       |      |      | ミーティング    | 行い、危険箇所の再確認と改善案を話し合う |
| 利用者の手の届く所に危険につながる物が置いてある | 風の里職員 | 2月9日 | 南風廊下 | 危険につながる物  | 移動させる                |
| 安全を考えた配置になっていない          | 風の里職員 | 2月9日 | 南風   | 南風の配置     | 変更する                 |
| 不穩者の情報の共有が出来ていない         | 風の里職員 | 随時   | 風の里  | 不穩者の情報    | 確実に申し送り、その日の勤務者で共有する |
| 利用者の行動パターンが把握出来ていない      | 風の里職員 | 毎日   | 風の里  | 危険につながる行動 | ユニットノートに記入し共有する      |

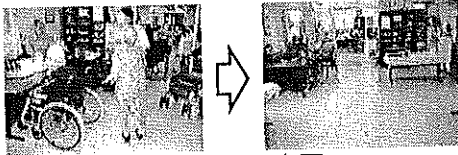
H18. 1. 15 作成者 秋津



今回勉強会に使用したテキスト 勉強会の様子



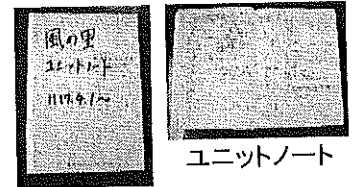
危険につながる物の移動の一例



南風の配置変更



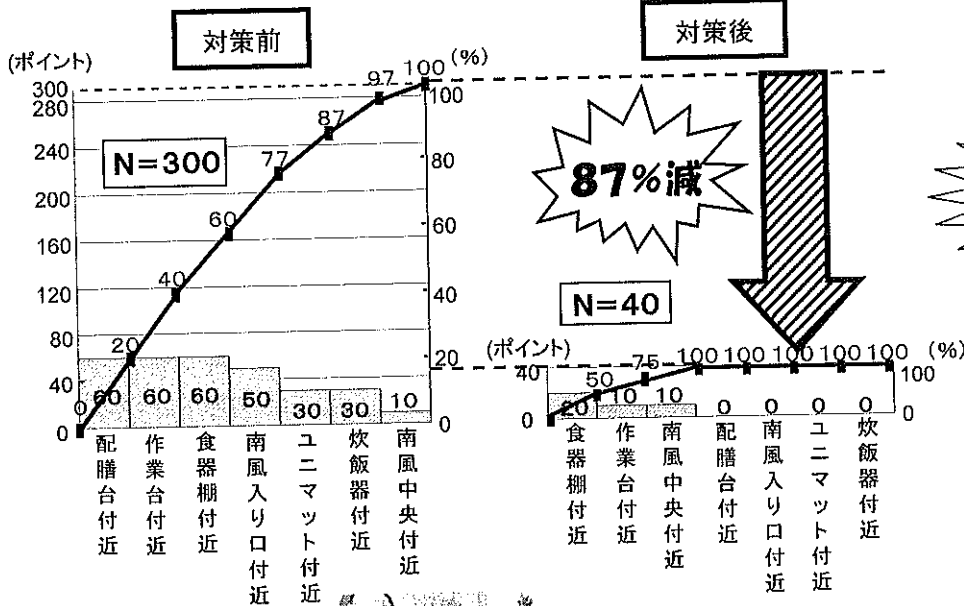
申し送りの様子と申し送り内容



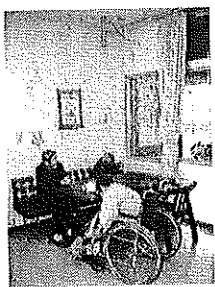
ユニットノート

## 10. 効果確認

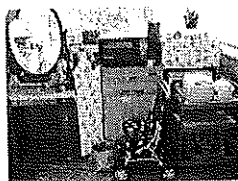
調査期間：平成18年1月20日～2月19日



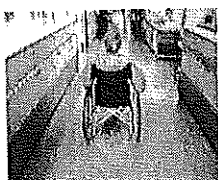
H18. 2. 26 作成者 高橋



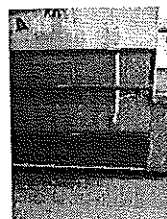
配膳台付近  
食器棚付近



作業台付近



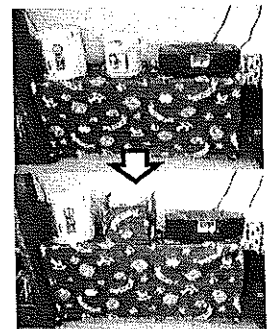
南風入り口付近



炊飯器付近



南風中央付近



ユニマット付近

## 11. 波及効果

### 有形効果

#### 職員

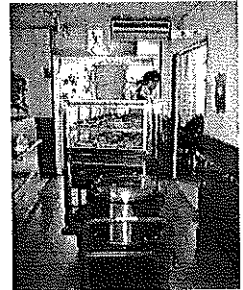
- ☆環境面に対する安全の意識が高まった。➡環境を要因とするヒヤリハット件数が増えた。(対策前 5/49件 (10%) → 対策後 13/75件 (17%))
- ☆整理・整頓を心掛けるようになった。
- ☆ご利用者をもっと知ろうと思うようになった。➡ご利用者の行動をより観察するようになった。  
➡ご利用者と同じ目線になって考えるようになった。
- ☆職員間で「こうすればもっと良くなるんじゃないか？」などの声があがるようになった。

#### 利用者

- ☆トラブルが減り、笑顔がより多く見られるようになった。
- ☆スペースが広がったことにより、ゆったりしてもらえるようになった。

#### その他

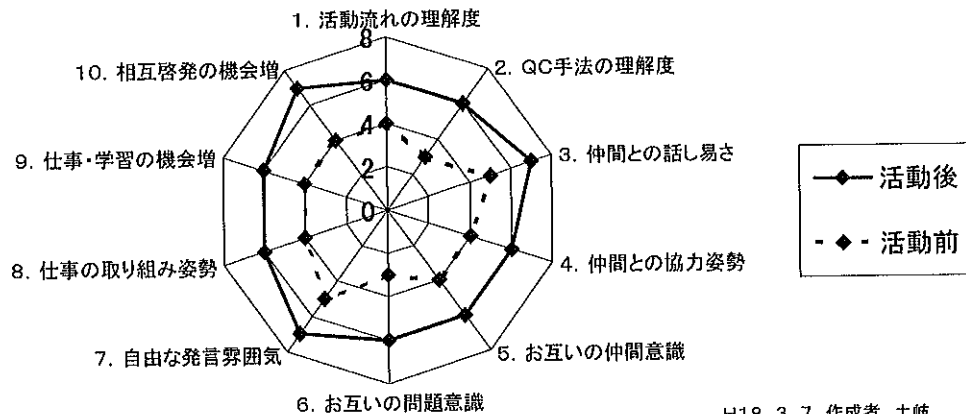
- ☆整理・整頓され見た目的にもスッキリし、きれいになった。
- ☆日頃使わない不要な物を片付けたことにより、新たなスペースの確保が出来た。
- ☆廊下が広がったことにより食事の配膳車がスムーズに通れるようになった。



食事配膳車が通る様子

### 無形効果

#### 活動前後のグループ環境



H18. 3. 7 作成者 土岐

## 12. 歯止め

| 要因                  | 誰が    | いつ  | どこで | 何を        | どうする                 |
|---------------------|-------|-----|-----|-----------|----------------------|
| 環境面に対する安全意識が低い      | 風の里職員 | 月1回 | 風の里 | 勉強会       | 行い、危険予測について勉強する      |
|                     |       |     |     | ミーティング    | 行い、危険箇所の再確認と改善案を話し合う |
| 不穩者の情報の共有が出来ていない    | 風の里職員 | 随時  | 風の里 | 不穩者の情報    | 確実に申し送り、その日の勤務者で共有する |
| 利用者の行動パターンが把握出来ていない | 風の里職員 | 毎日  | 風の里 | 危険につながる行動 | ユニットノートに記入し共有する      |

H18. 3. 15 作成者 秋津

## 13. 反省と終わりに

今回のQC活動を通して、職員の環境面に対する安全意識の低さや整理整頓する習慣の無さ、安全面を考えるばかりに機能面(使い勝手)が悪くなってしまうこともあり、限られた空間の中で安全・機能の両面を考えていかなければならない難しさを感じました。そして何より職員の危険予測に対する意識の統一や毎日のご利用者一人ひとりの行動や精神状態の把握の重要性を感じました。その為には職員間の定期的な話し合いや密な申し送りが必要不可欠であるということを改めて感じました。

まだまだ、現状では改善しなければならない危険が数多く潜んでいると思います。今回の活動をステップとして、職員一人ひとりが「予測の目」を持ち、ご利用者により安心して生活して頂ける安全な環境を提供し、笑顔で溢れる風の里を目指してこれからも努力していきます。



ご静聴ありがとうございました

